

# RI検査予約票

氏名

様

生年月日

年

月

日

あなたの検査予約日時は

月

日

時

分

です。

## 【あなたの検査】

<input type="checkbox"/> 頭部	注射をしてから15～20分後に撮像をします。
<input type="checkbox"/> 全身（骨）	注射をしてから2～4時間後に撮像をします。
<input type="checkbox"/> 全身（ガリウム）	注射をしてから2日後に撮像をします。
<input type="checkbox"/> 心臓（負荷）	注射直後と3～4時間後の2回撮像をします。
<input type="checkbox"/> 心臓（安静）	注射をしてから15～20分後に撮像をします。
<input type="checkbox"/> その他	

検査当日は下記の注意事項を必ず守ってください。なお、来院時にはこの予約票を持参し、予約時間の20分前までに総合受付においでください。

## 【検査当日の注意事項】

検査当日の食事	朝食を食べない ・ 昼食を食べない ・ 食べても良い (水・お茶は飲んでもかまいません。) (間違えて食べたかたは、必ず検査前に申し出てください。)
その他の注意	◆服用中のお薬については医師の指示に従ってください。

## 【RI検査について】

この検査は、ごく微量のラジオアイソトープ（放射性医薬品）を投与して、臓器の形態や機能を検査します。

## 【検査を受けるにあたって事前の注意事項】

下記の事項に心当たりのあるかたは、必ず検査前に申し出てください。

- (1) 妊娠をしているかたおよびその可能性のあるかた。
- (2) 授乳中のかた。

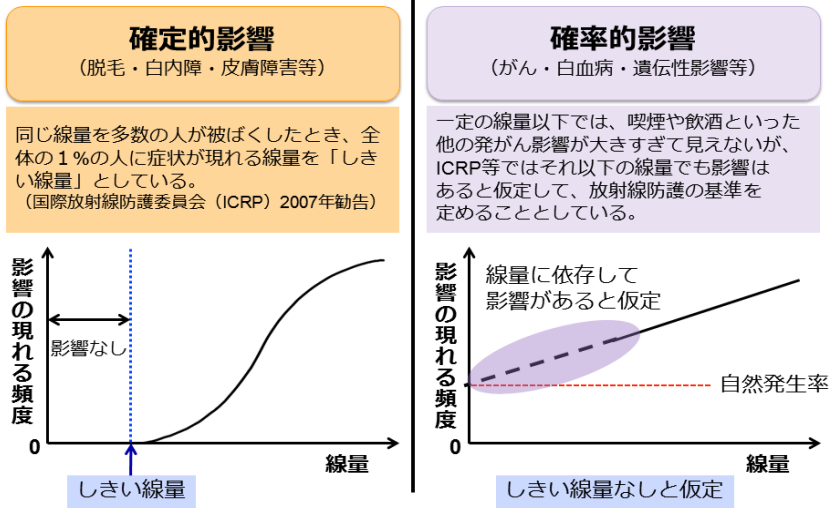
※ 予約の変更はできるだけご遠慮ください。なお、やむを得ず予約日時に来院できない場合は、お早めにご連絡ください。

# 放射線検査を受ける方へ

## 放射線の影響（確定的影響・確率的影響）

放射線検査では放射線を人体に照射するため、放射線被ばくが発生します。放射線被ばくによる人体への影響は、確定的影響と確率的影響の二つに分けられます。確定的影響はしきい線量（影響が発生する最低の線量）を超えると発生し、症状としては「脱毛・白内障・皮膚障害」などがあります。もう一つの確率的影響はしきい線量がなく線量の増加に伴って発生率が増加し、症状としては「がん・白血病・遺伝性影響」などがあります。

### 人体への影響 確定的影響と確率的影響



当院の検査ではしきい線量を超えることはありません。一般的には放射線被ばくによる影響はほとんどないと考えられており、発がんのリスクにおいても食事やストレスなど放射線以外の因子によるものと区別できないと言われています。

(出典：環境省ホームページ)

## 行為の正当化

放射線被ばくによるリスクと、放射線検査による病気の早期発見や治療方法の決定などのメリットを測ったうえで、メリットが大きいと判断された場合に放射線検査を行います。

## 放射線防護の最適化

検査の際にはなるべく少ない線量ですむように、放射線の量を体格に合わせて調節したり、照射する範囲をなるべく小さくしたりとさまざまな工夫がされています。通常の放射線検査ではしきい線量を超えるような被ばくを受ける事はありません。

このように診断の必要に応じて適切な放射線検査を行いますので、安心して検査を受けてください。

当院の主な検査でのおおよその被ばく線量

検査名	実効線量(mSv)	検査名	実効線量(mSv)
心臓カテーテル検査	100~200	頭部CT	2.6
X線撮影(胸部撮影)	0.2	胸部CT	7.1
自然放射線	2.4	胸部・腹部CT	15.6

核医学検査(骨シンチ)	標準投与量 740MBq (5mSv)
-------------	---------------------